

# 福マネット

<発行日>  
令和6年10月1日  
第29号

「福マネット」とは「福島のカーマネジャーのネットワークを深めていこう!」という思いが込められています。

## 巻頭言

会長  
逸持治 典子



会員の皆様には、平素より当協会の運営に際し、多大なるご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

令和6年4月の介護・診療・障がいのトリプル改正から半年が過ぎました。今回の改正により、3年前の法改正時からの虐待防止、ハラスメント、BCPの策定の経過措置が終了しました。また、居宅介護支援事業所における取り扱い件数の緩和、運営基準（同一敷地内、同一建物の減算等）の変更、医療連携、身体拘束に対する取り組み、テレワークの取り扱いの明確化等、新たな事柄に取り組む中、皆様の事業所・施設等におかれましては、ようやく落ち着きが出てきた頃かと思えます。

あわせて今回の法改正では、居宅介護支援事業所が介護予防支援の指定を受けることが可能になりました。このことにより、介護予防計画作成について改めて学びたいというニーズが高まっています。6月に開催した介護予防従事者研修会は、申し込み受付開始早々に定員となってしまう、受講希望がかなわなかった方も多数いらっしゃったかと思えます。その状況から、今年度については同研修会を2回開催することにいたしました。

介護保険制度も施行から25年目を迎え、様々な意味での「変化の時期」に差しかかってきています。「団塊の世代」と言われる方々が後期高齢者に到達し、今後は高齢者人口も減少に転じてきます。介護支援専門員はもちろん、介護サービス提供事業所も転換期を迎えることになるかと思えます。以前から言われている「8050問題」「老々介護」「認々介護」等の他、「介護と仕事の両立」「ヤングケアラー」「ダブルケア」という新たに認識されてきている課題も出現しています。介護支援専門員として、要介護・要支援状態になった方を支援するだけでなく、支援する方を支援するのも、私たちに課されている役割です。利用者本人が望む生活、支援者が望む生活が全く同じということはないと思われまます。

介護支援専門員がひとりで利用者や支援者を支えることは不可能です。そのためにも、他の専門職等と連携を図り、利用者等の生活を支援していくことが重要と考えられています。他の専門職と「認識のずれ」が生じないように、共通の視点を持ちながら、高齢者の自立支援に資するケアマネジメントを一定以上の水準で提供することが求められています。今まで積み上げてきた「実践知」と「科学的根拠」を根拠とし、「適切なケアマネジメント手法」の考え方が整理されました。当協会としても、その活用について、研修のあり方などを検討しているところです。

今後も、会員の皆様に有益になる研修会・情報提供等ができるよう、取り組んでいく所存です。どうぞよろしく願いいたします。

目次	巻頭言.....	1
	福マネットリレー “結” .....	2
	令和6年度社員総会&記念シンポジウム ..	2
	ケアマネジメントに活かそう! 令和6年度介護報酬改定 ..	3
	適切なケアマネジメント手法研修の感想 ..	4

- ハイライト
- ◆逸持治会長から皆様へ
  - ◆原町地域の“結”
  - ◆医療・介護・障害のトリプル改定で多職種連携の重要性
  - ◆後藤佳苗先生に介護報酬改定のポイントを学ぶ
  - ◆適切なケアマネジメント手法の考え方

福マネット  
リレー

原町方部介護支援専門員連絡協議会

副会長 酒井 典子

原町方部介護支援専門員連絡協議会は、南相馬市(鹿島区・原町区・小高区)と飯館村の介護支援専門員で構成されています。

南相馬市では、相馬野馬追や北泉海岸で全日本サーフィン選手権大会が開催されていることを皆さん、ご存知でしょうか。

原町方部連絡協議会の会員は、現在、約40名となっています。コロナ禍でここ数年は思うような研修も行えず、新たな会員の入会がない現状です。

今年度、役員になったことで、原町方部同様に会員数が増やせない方部や連絡協議会の活動が行えていない方部があると近隣方部の現状を知りました。また、原町方部では会員数が少ないことで法定研修協力でファシリテーターやオペレーターの出選に苦戦しております。

新たに介護支援専門員の資格を取得された方の中には、連絡協議会のことを知らない場合や入会の仕方が分からない場合もあるのではないかと意見が聞かれました。このため、入会のメリットや事務局の連絡先を記載した分かりやすいチラシを作成しております。今後各居宅介護支援事業所や施設などに配



布していく予定です。

また、研修会の開催を検討する中で、感染症、虐待、適切なケアマネジメント手法、災害対策、BCP、医療との連携など様々な案が上がりましたが、研修案内を見て「参加してみたい、話を聞いてみたい」と思えるような研修会にしていきたいとのことから、今回はキャリア形成支援事業を活用させていただき、研修会を開催します。

連絡協議会での研修内容などが充実してくることで、新たな会員の入会につなげていけたらと考えております。

今後近隣方部と合同の研修会を開催する中で、介護支援専門員の交流、地域情報の共有などを図り、介護支援専門員が悩んだ時に助け合える環境を作っていければと思っております。私ごとですが、施設ケアマネとして勤務をしていますが、施設ケアマネはどうしても施設内で完結してしまい、居宅介護支援事業所のケアマネさんより新しい情報に疎い部分があると感じています。ですが、方部の連絡協議会に参加させていただくことで、様々な情報を得ることができていると感じています。



## 令和6年度社員総会&amp;記念シンポジウム 副会長 小川 昌巳

令和6年度社員総会が5月25日(土)、福島県農業総合センターで開催されました。代議員の皆さまのご協力で議事が円滑に進行され「令和5年度事業報告・決算」及び「令和6年度事業計画・予算」について承認を頂きました。

総会后、記念シンポジウムを開催し、今年度は医療・介護・障害のトリプル改定であったため、多職種連携がより一層重要となることから、医師、作業療法士、理学療法士、栄養士、薬剤師、介護支援専門員のシンポジストからお話を頂きました。郡山医師会・福井謙氏からは、「高齢者は病気がメインではなく、生活背景も見なければならぬ。多職種が自身の得意分野を活かす連携が必要」というお話がありました。

福島県作業療法士会・安齋アサ子氏は、「人は作業することで元気になれる、という信念がある。その人にとって意味のある作業とするために強み弱みといった個性や生活環境など不足している情報がたくさんあり、作業療法士も介護支援専門員と連携していきたい」と呼びかけていました。福島県理学療法士会・斎藤隆氏は、「痛みを取り除くための訓練や実生活での基本動作練習は重要だが、機能向上に固執すると生活課題や社会参加などケアプランとの整合性が取れなくなってしまう。若い世代では、連携はしたいがどうしたら良いのか、緊張してうまく話せなくなってしまうことが多い」といった悩みを発表されました。福島県栄養士会・加藤すみ子氏からは、栄養士は食事の提供に関わることが多いのに対し、管理

栄養士は人に関わることが重視されるといった違いが説明されました。また、地域イベントの参加や老人クラブでの料理教室など地域住民と関わる活動を行っているとの紹介がありました。

福島県薬剤師会・小野寺大樹氏からは、ADLやQOLに関わるほど服薬状況が悪いときや処方が合っているのかなどもアセスメントをしており、外来通院の場合でも指示があれば在宅連携ができると情報提供がありました。

居宅介護支援事業所・本名由美氏は、介護支援専門員ではない視点は重要で、それを得るためにも、顔の見える関係から信頼できる関係づくりが必要だとの意見を述べました。地域包括支援センター・斎藤隆雄氏からは、行政や民生委員、弁護士など、利用者や事業所以外にも連携する場面は多岐に渡り、一つのチームとして機能できるように調整していると話がありました。

皆さんの話を聴いて、それぞれの職種が行っている地域での活動、連携に対する想いなど、多くのことを知る機会となりました。今後より一層多職種連携を深めていくには、「相手のことを深く知る」ことが必要なんだと気づくことができました。



## ケアマネジメントに活かそう! 令和6年度 介護報酬改定 ～仲間とともにトリプル改定を乗り越えよう!～

研修企画運営グループ  
佐藤 賢正

「令和6年度介護報酬改定を読み解く」と題し、講師に一般社団法人あご研究所の後藤佳苗先生をお迎えして、令和6年度介護報酬改定研修会が4月13日(土)、ビッグパレットふくしまで開催され、会員156名、非会員15名、計171名が参加しました。

令和6年度介護保険法改正及び介護報酬改定等の概要、全サービス共通の改定事項、居宅介護支援における改定事項など、約3時間にわたって主に居宅介護支援に絞った内容で講義をいただきました。根拠法令等を示しながら、ポイントを絞った講義が行われ、時折グループでの意見交換を織り交ぜながら、大変わかりやすい研修とな



りました。研修後、私自身も自事業所の運営規定と、契約書・重要事項説明書等を再度見直しました。解釈通知やQ&Aを読み込む時間がなかなか取れなかったり、読み込んでも理解が追いつかない部分があったりするかもしれませんが、今回の研修は理解を深められる良い機会となったのではないかと思います。



昨年度新たにできた研修企画運営グループとして最初の研修会企画でもあり、不手際もあったかと思いますが、会員の皆さまのご理解とご協力もあり、無事に終了することができました。この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。今後も会員の皆さまの糧となる研修を企画していきたいと思っておりますので、ぜひご参加いただけたらと思います。

昨年度新たにできた研修企画運営グループとして最初の研修会企画でもあり、不手際もあったかと思いますが、会員の皆さまのご理解とご協力もあり、無事に終了することができました。この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。今後も会員の皆さまの糧となる研修を企画していきたいと思っておりますので、ぜひご参加いただけたらと思います。

## 「令和6年度介護報酬改定を読み解く」の研修会に参加して

指定居宅介護支援事業所「もりえの」  
阿部 恵美

今回の改定は、「医療・介護・障害福祉のトリプル改定」と「4月と6月の2段階施行」となるため、会場には多くの会員の皆様に参加されており、関心の高さが伺えました。

研修では、主に介護報酬改定の概要や全サービス共通の改定事項、居宅介護支援の改定事項等について、根拠となる法令を確認しながらポイントを絞った具体的でわかりやすい説明を受けました。



特に減算項目(未実施減算と未策定減算)と福祉用具の貸与と販売の選択制の導入に関して確認ができて良かったです。

この研修会に参加し、法令を自己解釈するのではなく、法令の根拠をしっかりと読み解く力を身につけていく必要あり、分からないことを曖昧にしてはいけないと思いました。法令を順守することで、事業所や介護支援専門員である自分を守ることに繋がるのだと再確認することができました。今後は、Q&Aをしっかりと確認していきたいと思っております。



## 適切なケアマネジメント研修に参加して

介護サービスいわき有限会社 管理者 松崎 一也

2024年度からの介護支援専門員法定研修のカリキュラム見直しに伴い、すべての法定研修に「適切なケアマネジメント手法」の考え方が科目類型として追加されました。

今回は、実践での流れや事例について学びを深める目的で、中心講師及びファシリテーター経験者のほか、各地域から推薦された方々が集まったの勉強会となりました。

模擬事例を使い、まずは自身がどのような点に焦点を置いて情報収集を行い、「どのような支援方針を想定するか」の個人ワークを行うわけですが、この時に考えるべきはサービス提供先（通所介護など）といった「サービス内容」ではなく、「想定される支援の内容」であるということです。そして、グループ内で自身の支援内容を発表することで自分が普段どこに注意して進めているのかを知り、発表しあうことにより自分の傾向に気づくことが可能になります。

また、グループで導き出した「追加の情報収集・考えられる支援」を「基本的ケア」と「疾患別ケア」の観点から捉え、整理した項目と照らし合わせ、それに関連する最も近い支援内容を選択することで、自身の経験値では不足していたアセスメント項目や支援内容に気づき、本来必要なケアの抜け漏れを防ぐことができます。

今回の勉強会に参加し、「適切なケアマネジメント手法」の考え方について触れ、体験できたことはもちろん、「グループだからこそ見えた視点」に気づけたことは大きな学びでした。手法を学んで終わりではなく、この手法を確実に身につけることで、それこそ抜け漏れを防ぎ、本来必要なケアを実践していきたいと心に刻めた機会となりました。



## キャリア形成支援事業の案内

福島県介護支援専門員協会企画運営グループでは、令和6年度のキャリア形成支援事業について令和6年5月末に協会ホームページへ掲載いたしました。

キャリア形成支援事業の目的は、居宅介護支援事業所や居宅サービス事業所、介護保険施設からの申し込みを受け、各事業所が主催する研修へ協会が講師を派遣することにより、各事業所職員の資質向上を支援する目的で実施しております。

令和6年度は、新しい講師の先生方にもご協力いただけることとなり、さらに充実したカリキュラムとなっております。是非、協会ホームページをご確認いただき、各事業所で研修を実施するにはご活用いただきたいと思います。

## 介護支援専門員証有効期間の確認を忘れずに

介護支援専門員証の有効期間（5年間）を更新するためには更新研修又は専門研修の修了が必要です。

介護支援専門員としての実務経験の有無等によって、受講しなければならない研修が異なりますので、ご注意ください。

更新手続きについて、福島県高齢福祉課ホームページをご確認ください。

**発行**：一般社団法人 福島県介護支援専門員協会

**会長**：逸持治 典子

**事務局**：郡山市新屋敷一丁目166番 SビルB号

TEL 024-924-7200 FAX 024-924-7202 <https://www.fcma.jp>

**広報グループ**：清野 公隆 渡部由希子 齋藤 真尚 遠藤 陽子 遠藤キノエ 向井 洋子

星 潤子 大橋 寿子 杉岡 久子 後藤 綾乃 徳元 美好 佐々木香織